第九週　主に仕えて、主を隠されたマナ、芽を出した杖、命の法則として享受する

メッセージ鳥瞰　預言原稿

Ⅰ 主に仕える認識：神の御前での二種類の奉仕を識別する―家に仕えることと主に仕えること

エゼ44:10-11　イスラエルが迷ったとき、わたしから遠く去って行き、自分たちの偶像を慕ってわたしから迷い出たレビ人は…
彼らはわたしの聖なる所で務めをし、家の城門で見張りをし、家で務めをしなければならない…

エゼ44:15　ザドクの子たちであるレビ人の祭司たち…わたしの聖なる所の任務を守った者は、わたしに近づいて来て、わたしに対して務めをし、
わたしの前に立って、脂肪と血をわたしに献げなければならない

エゼ44:17-18　彼らは内庭の城門に入るとき、亜麻布の衣服を着なければならない…毛織物を身に着けてはならない…汗の出るような物を身に着けてはならない

二種類の奉仕の識別

一　神の御前において二種類の奉仕があることを認識する：神の目には、家に仕える奉仕があるだけでなく、さらにまさった奉仕、すなわち、主に仕えることがあります。
二　神の唯一の目標は、完全に彼に属している人を得ることです。しかし主に仕えることは、私達が家（主の民）を無視することを意味するのではありません。
三　私達は主に仕えるゆえに神が愛される人を愛し：　主に仕える人たちはまた、福音を宣べ伝えます。彼らは主のゆえに人を尊びます。
四　主を見れば見るほどますます兄弟姉妹たちを愛するようになります。
五　これはすべて主の満足と喜びのためであり、
六　自己の喜びと栄光のためではありません。

奉仕の道　働きの明示

七　私達は祈りを通して主に近づいて、主から力を得る必要があり、
八　祈りを通して主に近づいて、主のみこころを待ち望み、
九　祈りを通して主に近づいて、神の御前に立ち、僭越の罪から救われます。
十　そして脂肪と血を彼に献げます：血は旧創造を対処するためであり、脂肪は新創造のためです。主に仕える者たちは、神の義、聖別と栄光の要求を満たさなければなりません
十一　主に仕える働きは、命を与える霊の中での、キリストの命による働きであって、人の汗が出ることと労苦することに頼りません
十二　これは聖霊の働きであることを明示します。

使13:2　彼らが主に仕え、断食していた時、聖霊が言われた、「さあ、バルナバとサウロをわたしのために選び分け、わたしが彼らを召した働きに当たらせなさい」。

Ⅱ 主に仕える経験：主に仕えることは、彼を隠されたマナ、芽を出した杖、命の法則として享受することです

ヘブル9:3-4　第…至聖所、…契約の箱があって、その中には、マナが入っている金のつぼと、芽を出したアロンの杖と、契約の板とがありました

一 主を隠されたマナとして享受する：私達と主との間に距離がなく、隠された方法でキリストを享受することを表徴します　（命の木）

出エジ16:33　モーセはアロンに言った、「つぼを取って、マナを一オメルいっぱいその中に入れ、それをエホバの御前において、代々にわたって保存しておきなさい」

- ペルガモにある召会における状態に勝利するために、私達は宗教のこの世の実行から自分自身を分離しなければなりません
- 私達は主との直接の交わりを持つ時、自分自身と神との間には何の距離もないことを認識し、主が私達と共におられることを確かに知り、そして主からの委託を持ちます

二 主を芽を出した杖として享受する：私達が復活のキリストを経験して、務めにおいて権威を持つことを表徴します　（神を代行する）

民17:5　わたしが選ぶ人の杖は芽を出す。　10 アロンの杖を証しの板の前に戻して保存し、反逆者たちに対するしるしとしなさい

- 神はアロンの杖だけを契約の箱の中に保存し、永遠の記念としました。これが意味するのは、復活が神の選びの根拠であり、神に仕えることの永遠の原則です
- 復活を認識する人はみな、自分に絶望している人です。私達のできることは、天然の領域に属します。私達のできないことは、復活の領域に属します

三 主を命の契約の板をとして享受する：私達が命の法則を通して、神の御子のかたちに同形化されることを表徴します　（神を表現する）

ヘブル8:10-12　わたしはわたしの律法を彼らの心に書き記す．わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。
小さな者から大きな者まで、彼らがみな、わたしを知る。わたしは彼らの不義に対してなだめとなり、もはや彼らの罪を決して思い出さない

- 命の法則の自然の力、自動的な機能、本来の性能、神聖な能力を通して、私達が神を知り、機能する肢体となります
- 命の霊の法則は間違った事を行うことを規制するのではありません。それは規制して命の形が出てくるようにします。
この法則は私達を神の長子のかたちに同形化し、神にご自身の宇宙的な表現を得させます。